地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成30年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
岡山市久米南町国民健康保険病院組合	病院事業	―	―

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用			
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行

現行の経営体制を継続
○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

- その他
-
-

（左記で「その他」となっている場合の詳細）

当院は県内唯一の一部事務組合の病院である。これまで経営は比較的安定していたが、最近3, 4年の入院患者数の大幅な減少により平成28年度決算から累積欠損金を生じることとなった。このことは常勤医不足に起因するところが大きく、医師の安定的確保を図るため市内の基幹病院の傘下に入ることも選択肢のひとつとして検討しているが現時点では見通しが立っていないため。

（今後の経営改革の方向性等）

当院の最大の課題は常勤医師、とりわけ後継院長問題である。そのためにはどういった方策が適当か、大学医局への引続きの要請に加えて基幹病院との連携、合併、譲渡を含めて検討する時期に来ている。ただ、不採算地区病院であるが故の難しさもある。